

みんなで作ろう校内研究

- 学校が高まり

- 児童生徒が高まり

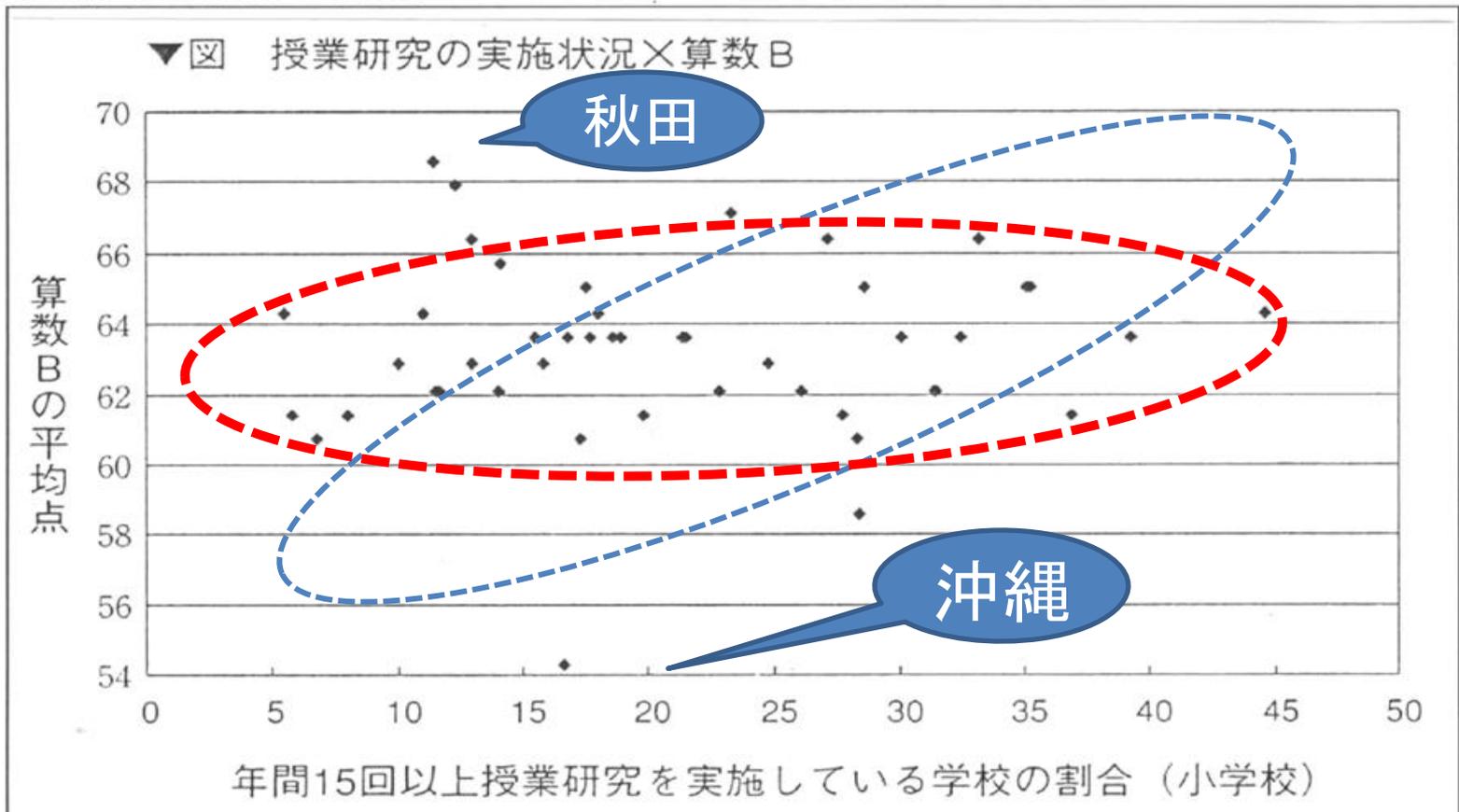
- 教師が高まる

授業研究を深める

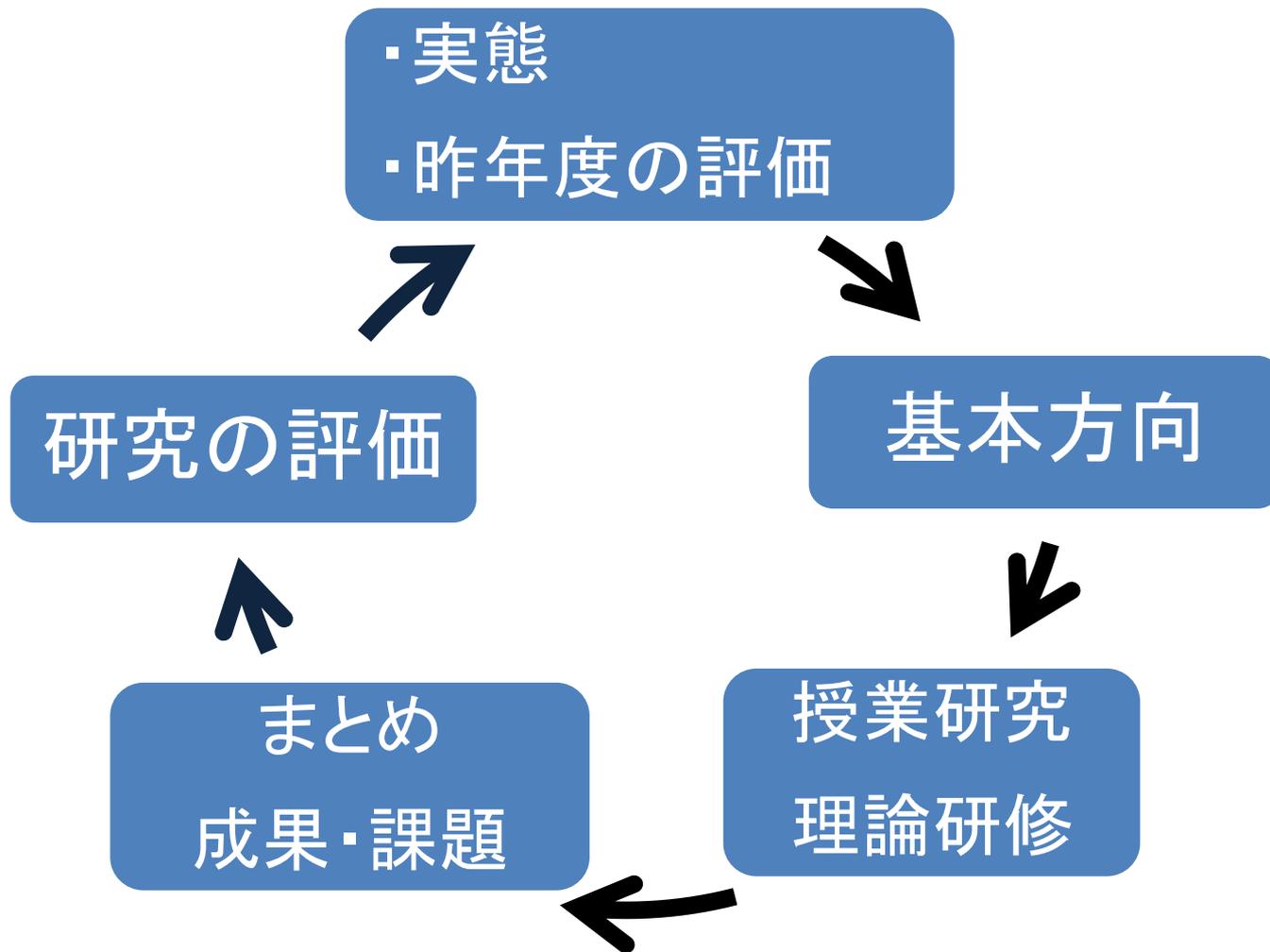
「授業研究」を深める

国立教育政策研究所統括研究官 千々布敏弥 ちちぶ としや

< 授業研究の効用と課題 >



1年間の見通しをもつ



研究主任の仕事1

研究の計画

1 研究主題の原案づくり

2 研究内容の提案

3 研究組織・研究方法の提案

4 校内研究の年間計画

研究主任の仕事2

研究の 実践

1 授業研究会を推進する

- ①指導案の確認
- ②授業の視点
- ③授業研究会の運営
- ④記録の整理(次回へ生かす)

教頭・
教務と
の連携

2 全体研修の内容と講師依頼

3 日常の授業と授業研究

研究主任の仕事3

研究の整理

1 研究報告書作成計画

- ◇各部会の整理項目の提案
※様式等

2 研究の評価

- ①アンケートの活用
- ②次年度の研究構想

テーマ設定理由の書き方

現 状

- ・社会の動きから
- ・学習指導要領との関連から
- ・学校及び児童の実態から

課 題

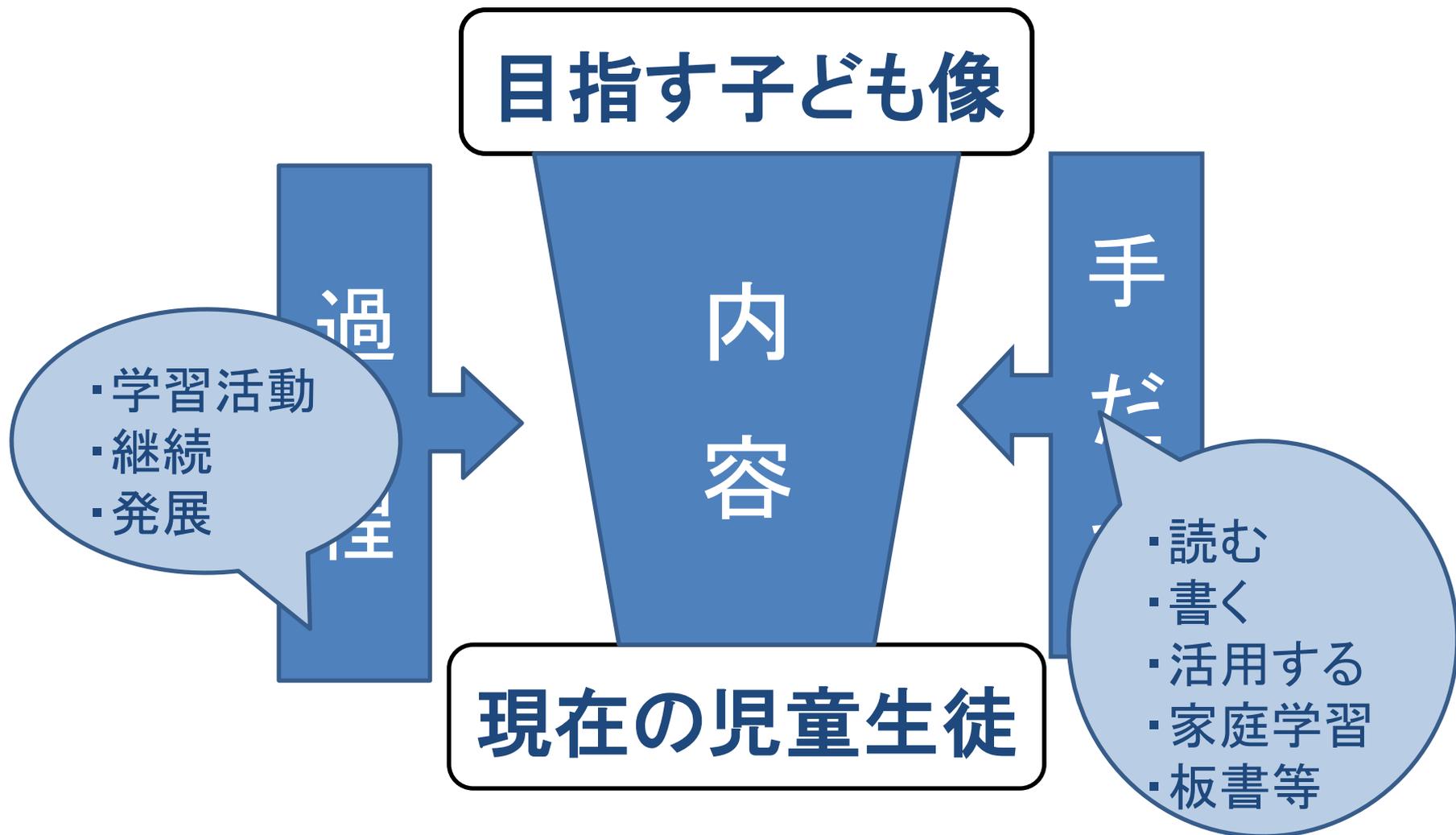
- ・昨年度の研究成果・課題から
- ・アンケート結果から
- ・成果の良さを踏まえて

解決の
方向性

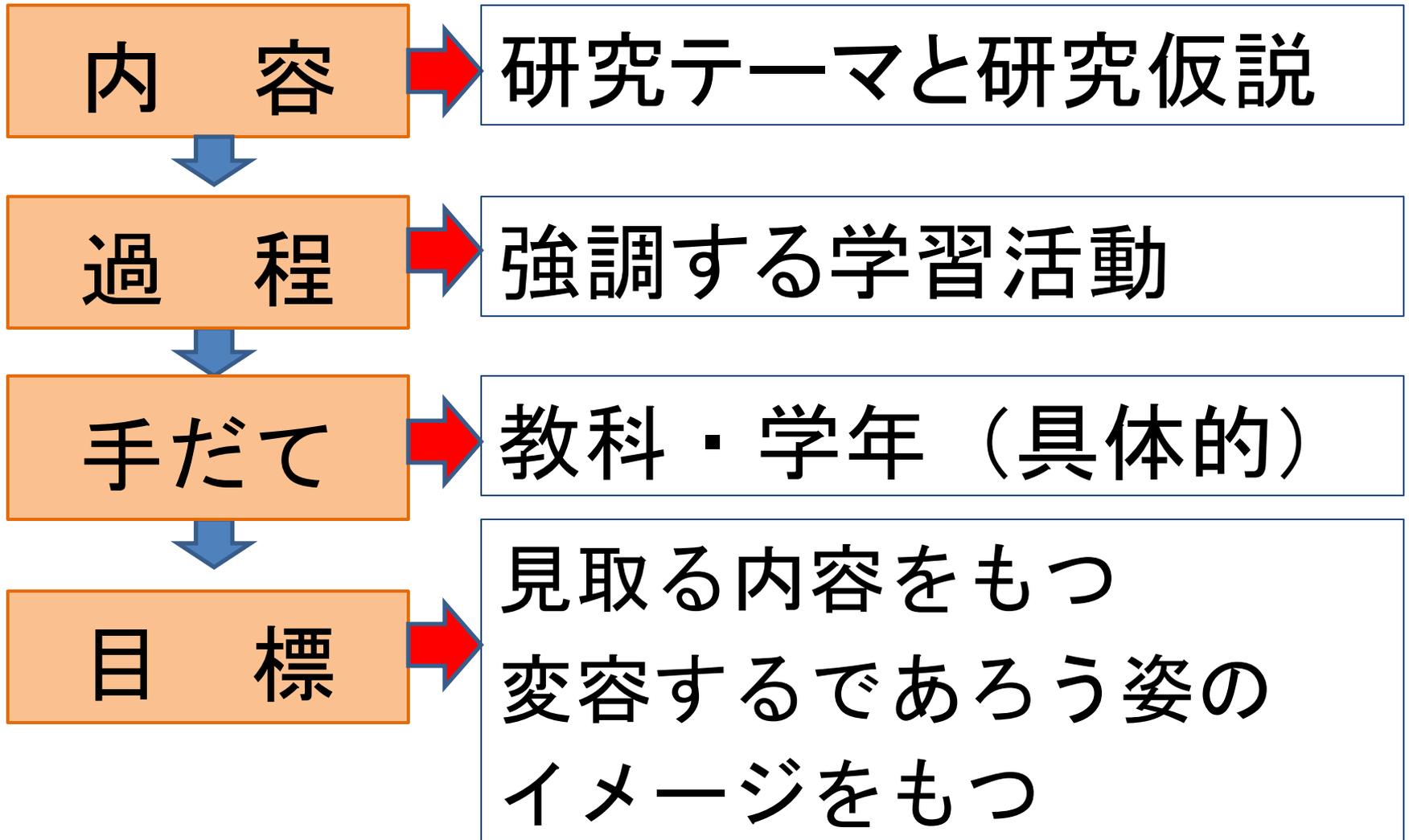
- ・指導の方向性の考え方
- ・予想される効果

書けるところから書いてみよう！

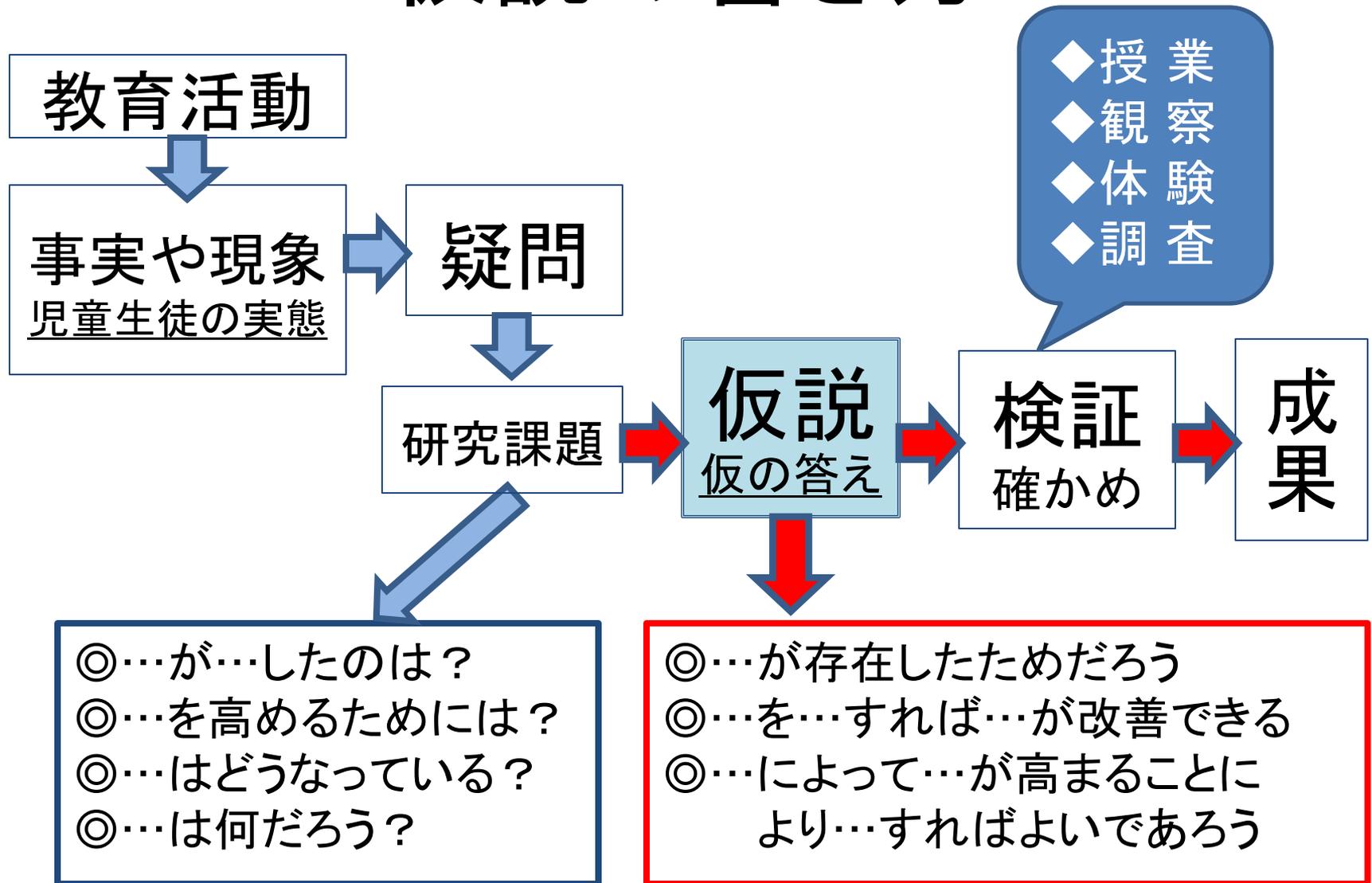
研究構想図の基本型（例）



構想図の具体内容



仮説の書き方



校内授業研究会

1 授業研究会のねらい

(1) 共通する課題に対して協同的に取り組むことにより教職員集団の意識を高める

(2) 課題解決のための手だてを生かせる授業技術を身につける

(3) 自己のものの見方や考え方を広げたり深めたりする。

校内授業研究会

2 検証授業

毎日取り組んでいる授業の線の上に！
※研究仮説に向かう見通しをもつ

授業者の視点

仮説の実証性や指導法の有効性を見る

参観者の視点

有効な統一実践内容の確認

仮説の実証性や指導法の有効性、今後の授業の改善点

日常の授業づくり 1

全職員で取り組む内容を確認する

◎学級担任、教科担当が替わっても、
一貫した指導で積み重ねの効果が
期待できる実践事項

(例1) ノートの使い方、宿題の内容・取組み、

(例2) 学習規律 — あいさつ、学習用具、忘れ物対応

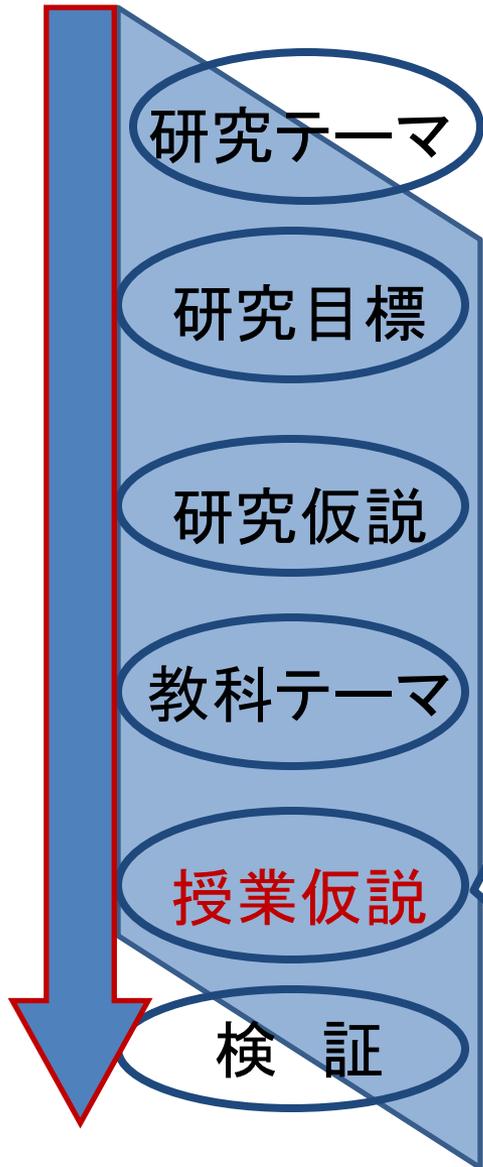
日常の授業づくり 2

児童生徒から感じ取ることのできるアンテナを！

次の授業へ生かす！

- (1) やることがはっきり分かっていた。＜明確な目標＞
- (2) 何となくできそうだった。＜能力に合致＞
- (3) 夢中で取り組んだ。もっとやってみたい。＜意欲・集中＞
- (4) 自分の意見が取り上げられた。友達や先生からも認められた。＜承認＞
- (5) 教えてもらってよかった。＜受容満足＞
- (6) できた、分かった、自信につながった。＜成就感・充実感＞
- (7) 力を出し切った。＜満足感＞

協議会の進め方



1. 授業分析の視点を明確にする。
＜研究仮説から授業仮説＞
○～の取組みは、～する上で有効であったか。
○～させたことは、～の考えを明らかにする上で有効であったか。
2. 振り返り
○ねらい達成の判断は、根拠を明確！
○ねらい達成不十分の要因は！
3. 改善点の方向、共通実践の確認
○明日からの授業に生かす。

何で授業を変えるか！

• 研究内容の視点

• 具体的な手だて

• 毎日の授業に生かす

• 見取る内容をもつ

• 変容するであろう姿
のイメージをもつ

授業研究会

統一実践

研究内容が決定したら

具体的な手だてを

全員で

継 続

コントロールするのが研究主任

お疲れさまでした！